

研究主題

「学びに向かう力，人間性等」を育む授業づくり ～学びの実感が得られる授業～

主題設定の理由

- ・興味・関心から自己に必要な課題を見付け、主体的に学びを高めていくため。
- ・学習過程を理解し、対話的学びを通して自己の学習方法を精査できるようにするため。
- ・学習活動から自己を振り返り、深い学びを通して考えを広げたり深めたりできるようにするため。

身に付けさせたい力

見通す力

調整する力

振り返る力

令和5年度の実践報告

低学年分科会

国語科 つたえたいことをおもい出してかこう 「おもい出のアルバム」

目指す児童像 学びを楽しむ児童

<手だて>

① めあてと振り返りの工夫

- ・振り返りから出た言葉を基にして、次時のめあてを作成することで、学習への意欲付けする。
- ・活動の途中でめあてに立ち戻ること、学習のゴールを意識させる。

② 学習計画の工夫

- ・教師モデルを提示することで、単元の見通しをもたせる。
- ・学習計画を提示し共有することで、児童の学習に見通しをもたせる。

成果

- ① 児童がめあてを考えることで自分事となり、意識して学習に取り組むことができた。また、めあてを意識していることで、めあてに沿って学習を振り返ることができていた。
- ② 教科書の見本文以外に教師モデルを作成したことで、単元のゴールをイメージすることができた。
 - ・学習の見通しを持つことができ、意欲付けとなった。また、習慣化されることで、安心して学習に取り組めたり、児童の達成感へとつながったりした。

課題

- ① 児童の言葉や意見からめあてを考えると、教師が抑えたいねらいまで届かないことがあり、言葉の精選が必要。
- ② 単元のゴールはイメージしやすかったが、授業の中での活用方法を検討していきたい。



中学年分科会

理科 「じしゃくのふしぎ」

目指す児童像 粘り強く挑戦する児童

<手だて>

① 事象提示の工夫

- ・身の回りの事象を提示することで、興味をもって学習課題を見いだせるようにする。
- ・前単元の取組が分かるように、教室掲示することで学習への意欲付けをする。

② 粘り強く取り組む工夫

- ・あらかじめ準備された実験セットを使い、多様な予想と結果から十分に思考させる。

③ 学習の流れの工夫

- ・学習の流れを掲示しておくことで、自分がどの段階にいるか常に立ち返れるようにする。



成果

- ① 魚釣りという児童の身近な事象を提示したことや、はさみやスプーンなどの身の回りにある物を実験材料としたことで、興味をもって学習課題に取り組むことができた。
 - ・学習した内容を教室掲示したことで、児童が既習事項として活用したり、振り返りで活用したりすることができた。
- ② ヤスリや1人1個の磁石など、事前に準備された実験セットを活用することで、児童が磁石の性質について多様な考えをもつことができた。
- ③ 学習の流れを固定して取り組んだことで、児童が次の流れを理解していた。また、見通しをもって学習に取り組むことができた。

課題

- ① 素材に偏りがあったようで、実験せずに考察を導き出そうとしてしまう場面があった。前単元で使用した素材を取り入れたり、児童が身の回りの事象を提示したりして素材を多種多様にする必要がある。

高学年分科会

体育科 C陸上運動 イ ハードル走「スピードにのろう 一寺ハードル走」

目指す児童像 自ら課題を解決する児童

<手だて>

① 自己の課題を見付ける工夫

・動画撮影や学習の振り返りをする中で、自己の課題を明確にさせる。

② 課題解決するための時間を設ける工夫

・〇〇タイムを設定することで、課題解決に向けた話し合いの時間を確保する。
・ポイントを伝え合う時間を設定することで、課題解決の方法を考えさせる。

③ 学習意欲を向上させる工夫

・単元のゴールを提示することで、見通しをもって学習に取り組ませる。



成果

- ① ワークシートで学習の振り返りをしたことで、児童が主体的に課題を見付けたり次につなげたりすることができた。
- ② アリエスタイム（*1）を設定したことで、自己の課題が明確になった。そのことから、具体的な練習方法や課題解決の方法を見いだすことができた。
- ③ 「一寺陸上」という単元のゴールを設定したことで、自己の記録を更新したいという意欲付けになった。

*アリエスタイム：課題別練習の時間

課題

- ① 動画で動きを撮影することは高め合いや学び合いに有効だと考えるが、児童に撮影することの良さについて気付かせることができなかった。児童に動画を活用する目的を理解させた上で取り入れる必要がある。
- ② 児童の言葉を使って練習や課題解決の方法を考えることはできたが、児童から出た言葉を教員側が精選して活用していく必要がある。また、アリエスタイムを充実させるために、途中で集合させて話し合ったり自分の課題や練習方法に向き合ったりする時間を設定するなど、授業展開の更なる工夫が必要であった。

研究の振り返り

成果

- ・学習活動を工夫（学習計画表、身の回りの物を活用した事象提示や実験セット、動画撮影や〇〇タイム等）することで、自己に必要な課題を見付けることができた。
- ・自己の課題を明確にさせることで、課題解決までの学習方法を工夫することができた。

課題

- ・学習方法を工夫する場は設定できたが、話し合いの仕方や考えを広げていくためのスキルを高めることができなかった。深い学びの実感が得られるように、話し合いの仕方を充実させていく必要がある。